

「けやき俳句の会」会報(第百九十回)

令和元年五月

第百九十回句会記録

★日時 五月一日

★場所 けやき学習室

★真樹先生投句

③ 放哉の生きし世界や卯波立つ

① 海境うなさかを越えて令和となる五月

一叢の芹まつすぐに和むかな

★真樹先生選句 (◎は特選)

◎④ 風振り切る尾に力ありこいのぼり

◎③ 平成は戦なき御代春惜む

◎③ 和の色を集めみちのく山笑う

◎② ぼうたんの香に抱きつかる長屋門

④ 夏近し世過ぎ和洋となり不易

③ 日和下駄で歩く春野や清々し

③ 耕しや平成最後の鋤振るう

③ 根津神社咲き満つ躑躅紅と白

③ 先祖墓葉ずれのやまぬ竹の秋

② 春寒し肌着重ねて和らげり

② 令和元年梓弓張る五月朔

② まつりごと和して同ぜず春惜しむ

② 明日の旅春夕焼といふ日和

① 民とともにありし平成春終る

① 和の国の新らたな目覚め芽吹き雨

① 検診は宇宙の旅や四月尽

① 風騒ぐ春筍の焼き上がり

★会員五選句

⑦ 今生も後生も自由シャボン玉

⑦ 春昼や寝息も乗せてバス走る

③ 初鯉気風が売りの女将かな

③ 江戸小紋流るるがごと花筏

② 夕まぐれおしやべり尽きぬ新人生

② ぼうたんの散るや羽衣舞うが如

② 香木屋の主饒舌遅日かな

② 水面にも映る明るさ若楓

① 苗代の靱の芽揃い田植待つ

① 山の端に一の字の列雁帰る

① 令和なり紙幣新らたと三極の花

① 今年また大和言葉でつばめ来る

① 燕飛ぶ考妣は土に帰りたり

① 行く末は慎ましくあれ雀の子

① 春の雲丸き地球の丘に座し

① 行く春のパイプオルガン降り注ぐ

① 浮世絵の流し目あやし春惜しむ

① のどけしや一個おまけの和菓子屋で

① 後期高齢を令和で始む四月尽

清明

紀泉

真弓

夕佳

東洋

蕉哉

蕉哉

紀泉

香魚

冬水

秋雲

一華

夕佳

樹音

藍愛

清明

【次回開催】

★日時・令和元年六月五日(水)

★場所・けやき学習室

★提出句・兼題「道」を含め三句

香魚  
一華  
隼人

青嵐  
樹音  
藍愛  
而今  
真弓  
秋雲  
東洋  
誠  
樹音  
藍愛  
清明